

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1079.50	2021/1/4
High	1130.58	2021/1/5
Low	1049.50	2021/1/5
Close	1067.50	2021/1/8

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3582.00	2021/1/4
High	3754.00	2021/1/5
Low	3479.00	2021/1/5
Close	3565.00	2021/1/8

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2460.00	2021/1/4
High	2509.00	2021/1/6
Low	2346.00	2021/1/8
Close	2374.00	2021/1/8

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8154.00	2021/1/4
High	8272.00	2021/1/6
Low	7824.00	2021/1/8
Close	7914.00	2021/1/8



ニュースエクスプレス

プラチナのパフォーマンスは他の貴金属を上回る予測 – ABN アムロ

貴金属価格は2020年、大幅に上昇したが、ABN アムロのストラテジストは2021年も引き続き高止まりになるとみている。シルバーは再びゴールドのパフォーマンスを僅かながら上回り、プラチナもまた好機にある。

「今年はプラチナの価格が最も上昇する可能性がある」とみている。その理由として第一に先行きのいいゴールドがプラチナにも好影響を及ぼし、またゴールドが高くなり過ぎれば、その代替としてプラチナを買う投資家もいること。第二に産業セクターの回復が続き、プラチナ需要の上昇につながる。第三に今年は自動車販売が伸びる予測があること。第四に燃料電池自動車技術にさらに注目が集まるだろうということ。プラチナは水素を燃料とする自動車に使われているが、その量は通常のディーゼル車の浄化装置に使われるよりも多い。最後に忘れてはならないのが、プラチナは最も安い貴金属であることだ。以上から我々はプラチナの需要が供給を上回り、先行きはポジティブであるとみている。」

「2021年のパラジウム価格はさらに上がるだろうが、上昇率はそれほどではないと思われる。今後、中国と欧州の厳しい排ガス規制遵守のため、浄化装置に使われるパラジウム需要は高く、供給は依然不足する。さらに世界中の産業セクターが回復し工業需要が増えるだろう。ゴールドとその他の貴金属の好調がパラジウムにも影響するだろうが、パラジウムの宝飾需要や投資需要が増えるとは考えにくく、したがってパラジウムの動きは周期的でマーケットは非常に薄い。」

<https://www.fxstreet.com/news/platinum-to-outperform-other-precious-metals-abn-amro-202101070804>

プラチナ鉱山株の高値で南アフリカの株価上昇

南アフリカの主要株価指数は三日続けて上昇し、ほぼ三年ぶりの高値となった。コロナ感染症で南アフリカからの供給に支障が出ると懸念する投資家らがいる中、プラチナ鉱山会社の株価が上がっている。

ヨハネスブルグ証券取引所のFTSE/JSE Africa All Shares Index は0.7%上昇して61,326で、日中の取引値としては2018年1月29日以来の高値となり、過去最高の終値61,685に近づいた。プラチナ鉱山会社指数は2.1%上がり、過去6ヶ月間の上昇率は56%となった。

インバラ・プラチナムホールディングズの株価は2.4%、シバニエ・スティールウォーターは2%、アングロ・アメリカン・プラチナムは1.8%、それぞれ上昇した。前回のプラチナ鉱山会社指数は3.8%の減少だった。プラチナの終値は1月5日に4年ぶりの高値をつけ、パラジウムは日中の取引値がほぼ10ヶ月ぶりの高値となった。

<https://businesstech.co.za/news/finance/459326/south-african-stocks-climb-as-platinum-miners-rally/>

プラチナ、4年4カ月ぶり高値 南ア供給懸念、脱炭素期待など背景

プラチナ（白金）の国際価格が急騰し、約4年4カ月ぶり高値を付けた。主産地の南アフリカで新型コロナウイルスの変異種の感染が拡大し、生産や物流など供給への警戒が強まった。白金は水素の生成にも使われ、脱炭素化に伴う将来の需要増の思惑も高まった。

国際指標となるニューヨーク先物は日本時間4日の時間外取引で一時的に1トロイオンス1100ドル台に上昇。2016年8月下旬以来となる高値を付けた。供給不安を背景に、白金の副産物として産出される白金族（PGM）のロジウムやイリジウムも足元で高値を更新している。

プラチナの値上がりには、供給面への影響に加え将来の需要増加を見込む投資マネーの動きも影響している。プラチナはディーゼル車向け排ガス触媒が主な用途だが、再生可能エネルギー由来の電力を利用し、水を電気分解して水素を生成するための電解装置でイリジウムと共に電極触媒としても使う。「米大統領選でのバイデン氏の勝利以降、環境銘柄の一つとしてプラチナに投資家の注目が集まっている」（日本貴金属マーケット協会の池水雄一氏）との指摘が出ている。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODJ042880U1A100C2000007?unlock=1>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- 2020年11月に中国の国务院が発表した文書では各企業に対して、脱炭素化に不可欠な技術に必要な戦略的材料の入手確保を促しており、それにはプラチナが重要な資源となっている。詳しくはWPICが2021年1月6日に発表したプラチナ豆知識「中国の水素利用」（2021年1月6日）をご覧ください。<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2021/01/06>
- なぜWPICはプラチナの投資需要を総需要に算入すべきと思うの？詳しくはWPICの12月の「プラチナ展望：プラチナ現物投資はプラチナ価格決定に不可欠な要素」をご覧ください。[https://platinuminvestment.com/files/984436/WPIC\\_Platinum\\_Perspectives\\_December\\_2020.pdf](https://platinuminvestment.com/files/984436/WPIC_Platinum_Perspectives_December_2020.pdf)



@wpijapan